

## 編集後記

春以来の新コロナウイルスによる一連の騒擾で、新学期は異常とも異様とも称する状態で始まった。新コロナ後の世界、社会の変容を予言する言説もすでに現れている。典型的なものは、今後の選択は権力集中型の効率的な社会形態なのか、民主主義に立つ開かれた社会なのかというものだ。教育機関としての大学は、すでに権力集中型を選び、効率を挙げ、今後の大学淘汰の時代に備えようとしている。それは現時点での必然的な時代の要請であろう。しかし一方、教育が百年の計といわれるのは、その目標が人間を創ることにあるからである。もちろん百年後を明確に思い描くのは至難である。しかしながら、例えば教養という概念は、非効率であろうと可塑性に富むものだ。数千年に及ぶ教養教育を捨て去り、効率と効能を追求した末に発現する教育とはいかなるものであろう。その意味において、この時点で教育を各々の立場において見直すことは決して無益なことではあるまい。

こうした観点から当紀要第79号は「尚綱とキリスト教」を特集とし、尚綱学院のキリスト教教育に多大の貢献をされた方たちからの貴重な識見をいただいたことを、心より感謝申し上げます。また6編の論文、1編の書評を御寄せいただきました。総合人間科学系に相応しい、多様な分野の研究あるいは分野をまたいだ共同研究の成果を、ここに掲載できたことは大変喜ばしいことです。

紀要への投稿は、随時受け付けています。投稿を希望される方は、本学図書館の窓口において、所定の資料をお受け取り下さい。「紀要執筆要項」「『紀要』投稿規定」に従い、完成原稿をご用意いただき、図書館窓口にご提出ください。投稿原稿は、委員会規程による査読審査を経て、その結果を書面でお知らせいたします。

次号『紀要』第80号では、2020年4月1日から9月10日（木曜日）16:00までを、審査の対象とし、お預かり次第、委員会による検討を開始いたします。どうか奮ってご投稿ください。当委員会は本学の教育・研究を公にするための権威ある組織として、今後も努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

紀要編集委員会

委員長 小原 俊文

尚綱学院大学『紀要』編集委員会

○小原 俊文      一條 玲香      菊池 哲彦      杉山 芳宏  
(○紀要編集委員長)